

当院の「新型コロナウイルス感染予防」5つの基本対策

当院では、この度の新型コロナウイルス感染症の流行に対しまして、患者様が安心して受診していただけますよう、下記のような対策を行っております。

1. 一般患者様とは別の発熱外来室（隔離室）の設置による院内感染防止

発熱、咳、倦怠感等の新型コロナ感染症疑いのある患者様の診察は、**一般外来患者様や健診のために来院された方々と診療区域を完全に分けるために入り口・診察室ともに一般外来患者様とは別の隔離環境下の発熱外来室**にて診察を行っておりますので、院内感染防止対策は万全ですので安心してご来院ください。また、来院されるすべての患者様に体温測定と体調のチェックを行わせて頂いております。

2. アルコール消毒による環境整備

診察室、待合室の椅子や扉、ドアノブ・手すり等の接触面等は1時間ごとに、また、トイレ、医療機器、物品などは定期的に、アルコール消毒しております。また、院内各所には患者様が使用可能なアルコール消毒薬を設置しています。

3. 換気、空気清浄対策

診察室、待合室、内視鏡室、処置室、病棟は一定時間ごとに十分な換気を行っております。また、待合室に空気清浄器を設置し、院内感染防止を図っています。

4. 内視鏡前処置、内視鏡実施時の工夫

日本消化器内視鏡学会の提言に基づき、飛沫を誘発する前処置の回避、運用変更を行い、内視鏡医・看護師は個人防護具着用を徹底して、曝露、環境汚染の予防に努めております。また、当院では内視鏡を日本内視鏡技師会ガイドラインに沿って厳重な洗浄、消毒を行っております。使用する内視鏡は1本1本厳重なシステムによって管理され、**新型コロナウイルスを含めて細菌・ウイルスによる感染予防**に努めておりますので、患者様は安心して検査・治療をお受けいただくことができます。

5. 職員の感染予防策

出勤前後の体温測定と体調チェックにより毎日の健康状態を確認し、サージカルマスクの常時着用や手指衛生の徹底に努めております。また、院内外での高リスク環境（3密）の回避、飛沫対策を心がけております。